SONY

パーソナルコンピューター

F シリーズ

取扱説明書

VPCF13

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書(本書)をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

取扱説明書(本書)

VAIOを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書(本書)に記載している情報のほか、さらに詳しい情報もたくさん記載しています。検索機能を使って、すばやく便利に目的の操作やトラブルの解決法を見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO電子マニュアル]をクリックする。

VAIO ナビ

目的にあったソフトウェアを探す

目的の項目を一覧から選んでいくことで最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIOナビ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

F シリーズ

本機をセットアップする

インターネット／メール

増設／バックアップ／リカバリー

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご確認ください。

このマニュアルでは、Windows 7 64ビット版での操作を説明しています。32ビット版がインストールされている場合、実際にお使いの操作とマニュアルの記載とが異なる場合があります。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや写真、画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows 7の画面テーマには、「Aero」や「ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」は、Windows 7 Home Premium搭載モデル、Windows 7 Professional搭載モデル、およびWindows 7 Ultimate搭載モデルにインストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
- **SSD**
  Solid State Drive(内蔵フラッシュメモリー)のことをさします。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO 電子マニュアル]をクリック!

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

インターネット／メール

増設／バックアップ／リカバリー

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2 適合品です。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリー未搭載でAC アダプターを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線モジュールは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵の無線モジュールを分解／改造すること
- 本機内蔵の無線モジュールに貼られている証明ラベルをはがすこと

レーザー安全基準について

本製品には、レーザーに関する安全基準（JIS C 6802：2005）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

注意

- 本製品の修理・点検が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
- ここに規定した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

搭載されている光ディスクドライブについて

注意

ここを開くとクラス3B の可視及び不可視
レーザー放射がでます。
ビームの目または皮膚への被ばくは危険です。
見たり触れたりしないでください。

最大出力：390μW (λ650nm), 563μW (λ780nm), 39μW (λ405nm)
ビームの発散：0.6 (λ650nm), 0.45 (λ780nm), 0.85 (λ405nm)
パルス幅：連続波

FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)について

本機内蔵のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。使用周波数は、13.56 MHz帯です。本機内蔵のFeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)を分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
周囲で複数のリーダー/ライターをご使用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

AC電源の遮断について

⏻(パワー)ボタンを押して電源を切っても、本機は、電源からは完全には遮断されていません。
電源から切り離すためには、ACプラグをコンセントから抜く必要があります。
不具合を感じた場合はすぐにコンセントからプラグを抜けるように、ACアダプターは、コンセントの近くでお使いください。

バッテリーについて

間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。
使用済の電池は、取扱説明書に従って処分してください。

持ち運び時の注意について

本機持ち運び時における故障や発火の危険を防ぐため、持ち運び時には付属の端子カバーやスロットプロテクターなどを適切な場所に取り付け、またバッテリーも取り付けてください。

ACアダプターについて

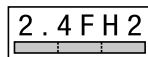
ACアダプターは、同梱、あるいはソニー純正の指定品のものをお使いください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4DS/OF4

ディスプレイ出力のHDCP対応について

本機は、HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応しており、著作権保護を目的にデジタル映像信号の伝送路を暗号化することが可能です。
これにより著作権保護を必要とするコンテンツを再生・出力することが可能となり、幅広いコンテンツを高画質のまま楽しむことができます。
著作権保護されたコンテンツを再生する場合には、HDCP規格に対応したディスプレイが接続されている必要があります。非対応のディスプレイを接続した場合は、著作権保護されたコンテンツは再生または表示できません。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピューターの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピューターの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：
（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00
（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート]－[お問い合わせ／アフターサービス]－[使用済みコンピューターの回収について]をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたVAIOを廃棄する場合は、http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る
❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす
❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクまたはSSDなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

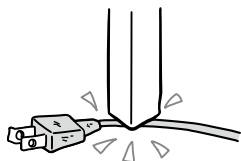
行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずしてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリーモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「増設する」(54ページ)に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、LANケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。なお、ACアダプターと電源コードは対応する入力電圧が異なる場合があります。ACアダプター・電源コードの記載をご確認ください。
  本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
  海外で使うと罰せられることがあります。

LAN端子に指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

本機のLAN端子に次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、端子に必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

バッテリーを廃棄する場合は、一般ゴミに混ぜて捨てない

バッテリーは、ゴミ収集作業などで衝撃や圧力が加わり、漏液・発熱・発火・爆発・破裂などの危険があります。廃棄する場合は、リサイクル協力店へお持ちください。
または、地方自治体の条例などに従ってください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の機内ではワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

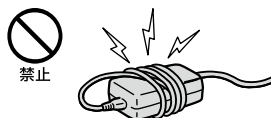
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプターや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

付属の電源コードはこの機器のみでご使用いただく専用品です。他の製品ではご使用になれません。
また、付属の電源コード以外は本製品にはご使用にならないでください。発熱により火災・感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。

本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

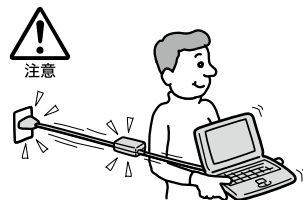
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

端子はきちんと接続する

- 接続端子の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- 端子はまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- 端子に固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。

幼児の手の届かないところに置く

"メモリースティック"などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけが、故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリーをご使用ください。
- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリーを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 以下のバッテリーを使用した場合、本機、バッテリーまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリー以外のバッテリーを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリーを使用した。
- 性能が低下したバッテリーを使わない。
  バッテリー駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーと交換してください。

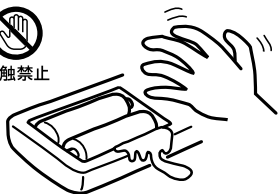
バッテリーを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

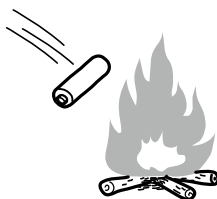
素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

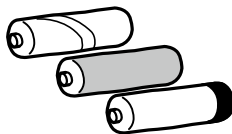
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

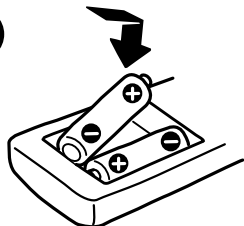
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

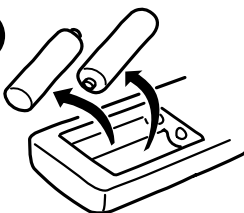
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池(単三形)以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプター、バッテリーが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプターが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプターの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

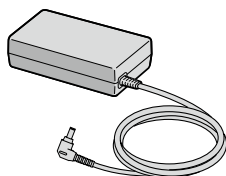
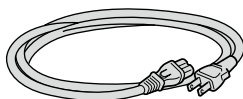
準備1

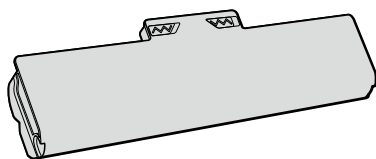
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❑ ACアダプター

❑ 電源コード

！ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

❑ バッテリー

❑ リモコン

（リモコン付属モデルに付属）

❑ リモコン用単3マンガン乾電池（2）

（リモコン付属モデルに付属）

❑ アンテナ変換ケーブル

（地上デジタルチューナー搭載モデルに付属）

ヒント
本機はハードディスクまたはSSDからリカバリーすることができるため、リカバリーメディアは付属しておりません。
詳しくは「リカバリーする」（63ページ）をご覧ください。

説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ 主な仕様

❑ 保証書

修理の際に必要になります。

❑ VAIOカルテ

修理の際に必要になります。

❑ B-CASカード

（地上デジタルチューナー搭載モデルに付属）
台紙に貼付されています。
テレビを視聴するためには、B-CASカードを本機に挿入する必要があります。（23ページ）

❑ Microsoft® Office 2010 プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルに付属）

ヒント

「Microsoft Office」を使い始めるには、プロダクトキーの入力が必要です。詳しくは、プレインストールパッケージに付属の「Office お使いになる前に」をご覧ください。

❑ その他・パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

「Microsoft Office」のお問い合わせ先

- ❑ Microsoft Office Home and Business 2010
- ❑ Microsoft Office Personal 2010
- ❑ Microsoft Office Professional 2010

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報、およびプロダクトIDの確認方法については、付属の「Office お使いになる前に」をご確認ください。
- 「Office 2010」関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
Microsoft Corporation

基本操作に関するお問い合わせ：
本件について詳しくは、付属の「Office お使いになる前に」をご確認ください。

メールでの受付
以下のWebサイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。
http://support.microsoft.com/oas/
24時間いつでも受け付けています。

電話での受付
（0120）54-2244

受付時間：月曜日～金曜日：9時30分～12時、13時～ 19時
土曜日：10時～ 17時
（祝日、マイクロソフト社指定休業日を除きます。マイクロソフト社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記どおり受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。）

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
こちらのお問い合わせに限り、日曜日も10時～ 17時までサポートいたします。

有効期間
「Office Personal 2010」／「Office Home and Business 2010」：
お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間 *
「Office Professional 2010」：
お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して1年間 *

* サポート ライフサイクル期間内

準備2

接続する

B-CASカードを入れる（地上デジタルチューナー搭載モデル）

本機は地上デジタル放送に対応しています。
地上デジタル放送ではB-CAS*カード（デジタル放送用ICカード）を利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
本機でテレビを楽しむには、本機に付属されているB-CASカード（デジタル放送用ICカード）を本機に挿入する必要があります。
B-CASカードを挿入していないと、スクランブルが解除できないため、デジタル放送を視聴することができません。

* B-CASは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

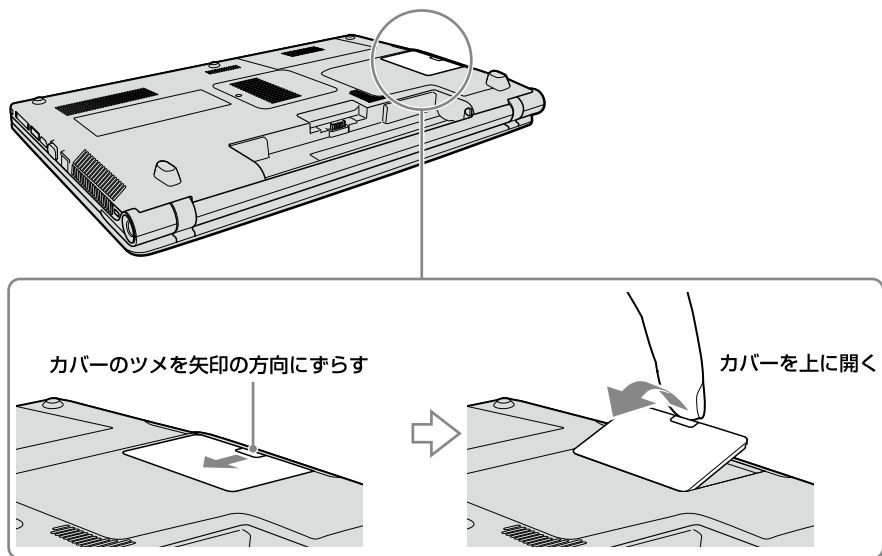
！ご注意

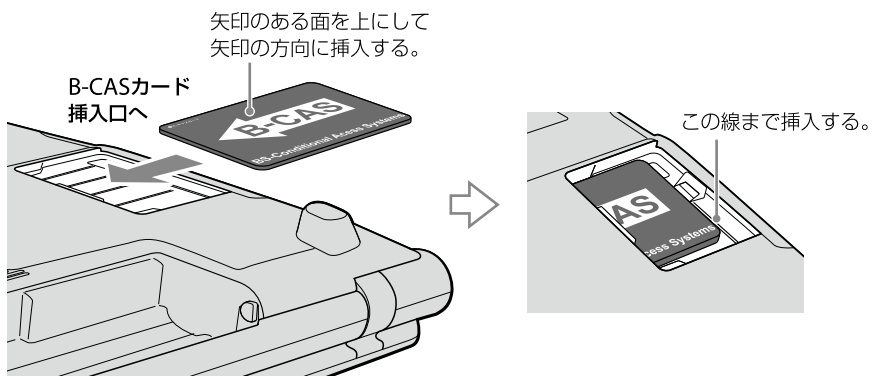
- B-CASカードの取り扱いの詳細は、カードが貼られている台紙の説明をご覧ください。
  また、台紙は大切に保管しておいてください。
- ご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。

1 **同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。**

2 **本体底面のB-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入する。**

① 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

② 本機を裏返し、B-CASカードカバーのツメを矢印の方向にずらし、カバーを上に開く。

③ B-CASカードカバーを持ち上げて取りはずす。

④ B-CASカード挿入口に、B-CASカードを矢印のある面を上にして、矢印の方向に奥までしっかりと差し込む。

!ご注意

B-CASカードは、本機と水平の角度にして挿入してください。

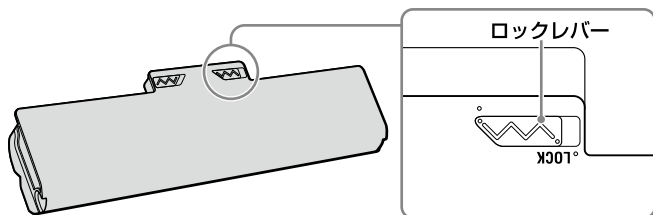
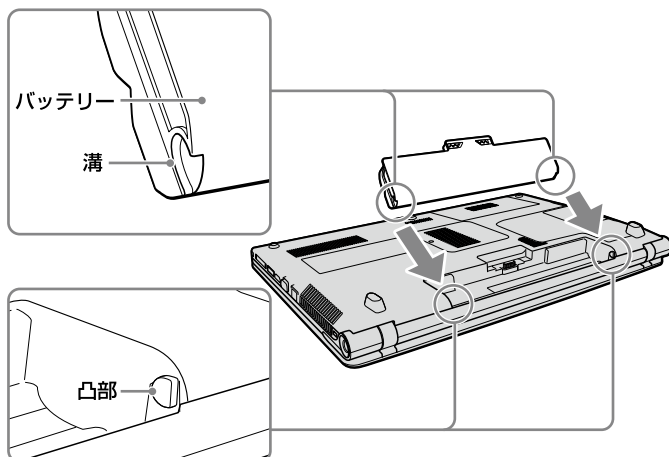
⑤ 取りはずしたB-CASカードカバーを元に戻す。

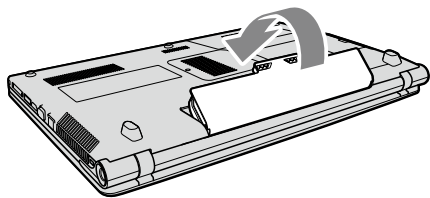
バッテリーを取り付ける

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリーを取り付けます。
あらかじめ「バッテリーについてのご注意」（101ページ）をご覧ください。

バッテリーは、以下の手順で本体底面のバッテリー取り付け部に取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 バッテリーのロックレバーを内側（LOCKと反対側）にずらす。

3 バッテリー取り付け部両端の凸部とバッテリー両端の溝をあわせる。

バッテリーを矢印の方向に回転させながら倒す。

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 ロックレバーを外側（LOCK側）にずらして、バッテリーを固定する。

！ご注意

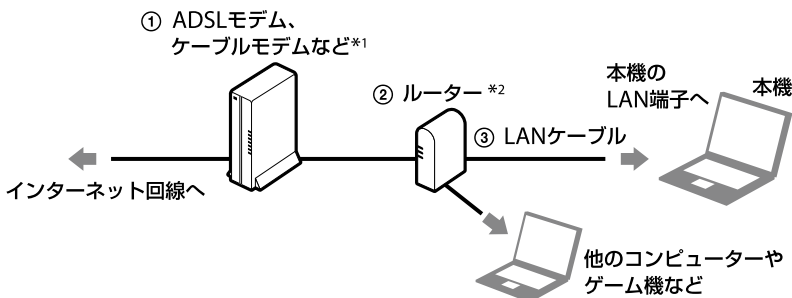
必ずバッテリーのロックレバーをLOCKにした状態で本機をお使いください。
ロックが不充分なままお使いになると、バッテリーがはずれたり、突然本機がシャットダウンされるなど不具合の原因となります。

インターネット接続用機器につなぐ

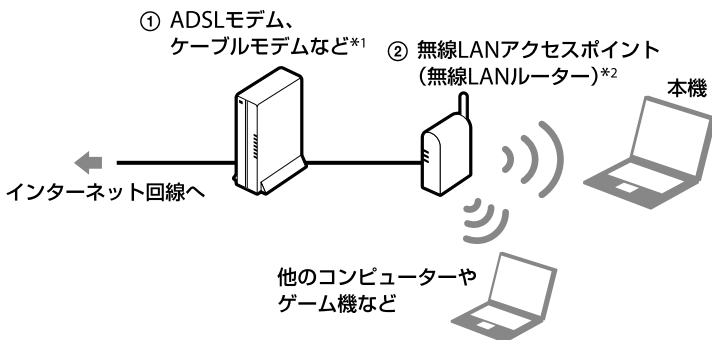
インターネットに接続するためには次のような機器が必要です。各機器の接続・設定方法は、プロバイダーから送られてきたマニュアルや資料、機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

ヒント
無線LANでインターネットに接続する場合は、「準備4 Windowsを準備する」のあとに無線LANの設定を行ってください。詳しくは「無線LANで通信する」(48ページ)をご覧ください。

有線LANで接続するには

次の①、②、③が必要です。

!ご注意
LAN端子に接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット(Ethernet)用などと表記されているものをご使用ください。

無線LANで接続するには

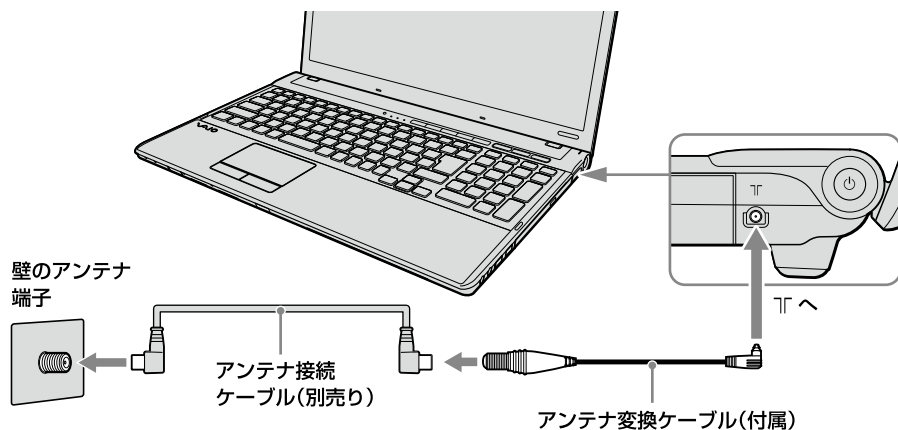
次の①、②が必要です。

*1 マンションなどの集合住宅では、壁のLAN端子に直接LANケーブルを差し込める場合があります。その場合、モデムは必要ありません。

*2 ほかの機器をインターネットに接続しない場合や、ADSLモデムなどにルーター機能が搭載されている場合は、ルーターは必要ありません。

アンテナを接続する（地上デジタルチューナー搭載モデル）

テレビを見たり、録画するときは、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。

1 アンテナを接続する。

本機は、地上デジタル放送を受信する地上デジタル入力端子を搭載しています。
本機を使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、付属のアンテナ変換ケーブルと別売りのアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナ端子につなぎます。

2 必要に応じて、インターネット接続用機器を接続する。

接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」（27ページ）をご覧ください。

ヒント

インターネットに接続しなくても、テレビを視聴したり録画したりすることができます。
ただし、双方向サービスを利用する場合やコンテンツ解析を利用するためには、インターネット接続が必要です。

地上デジタル放送受信機をはじめてご使用になる方へ

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されているかご確認ください。
詳しくは、アンテナの販売店や社団法人デジタル放送推進協会のホームページ(http://www.dpa.or.jp)、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(ナビダイヤル 0570-07-0101)などにお問い合わせください。
受信障害がある環境など、放送エリア内でも受信できない場合がありますのでご注意ください。

個人住宅など、アンテナで直接受信する場合

地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。VHFアンテナでは受信できません。
現在お使いのUHFアンテナでも、地上デジタル放送に対応していればそのまま使えます。ただし、対応していない場合はUHFアンテナの交換が必要です。
また、地域によっては、地上デジタル放送の送信所にあわせてアンテナの向きを変える必要がある場合があります。
詳しくは、販売店にお問い合わせください。
なお、ケーブルテレビで受信・視聴するときは、UHFアンテナは不要です。

!ご注意

BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送は受信できません。

マンションやアパートなど、集合住宅の場合

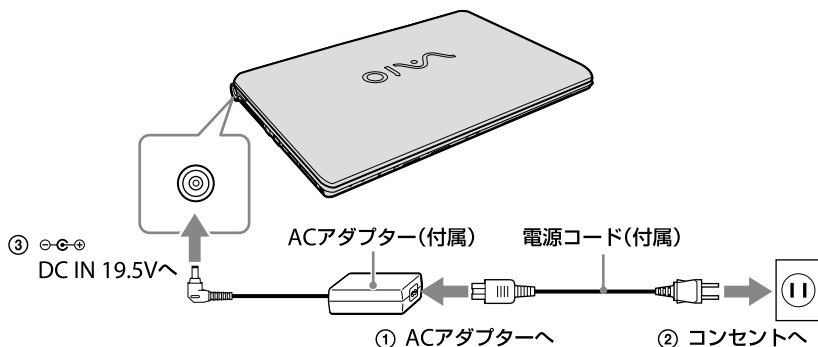
現在の設備で地上デジタル放送が見られるか、確認が必要です。
お住まいの管理組合または管理会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ(CATV)について

地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタル放送が開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。なお、ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機は同一周波数パススルー方式および周波数変換パススルー方式に対応しています(トランスモジュレーション方式には対応していません)。

送信方式	内容
パススルー方式	受信した電波を変調方式を変えずに伝送する方式。
同一周波数パススルー方式	地上デジタル放送が使用するUHF帯の電波を、放送の周波数のままでケーブルテレビ網に再送信する方式。
周波数変換パススルー方式	受信した電波を、放送の周波数とは異なる周波数に周波数変換してケーブルテレビ網に再送信する方式。

電源コードを接続する

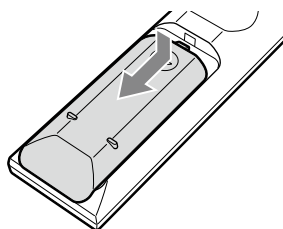
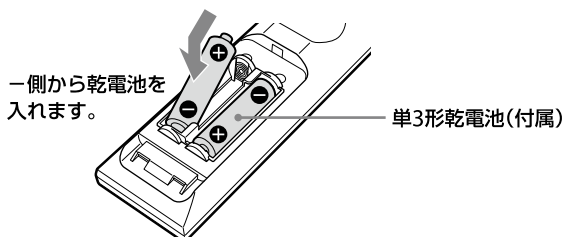
本機と電源コンセントを接続します。

1 電源コードのプラグをACアダプターに差し込む。

2 電源コードのもう一方のプラグを、電源コンセントに差し込む。

3 ACアダプターのプラグを、本体左側面の ⊖-◐-⊕ DC IN19.5V端子に差し込む。

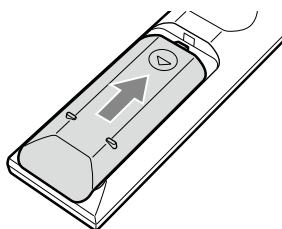
リモコンを準備する（リモコン付属モデル）

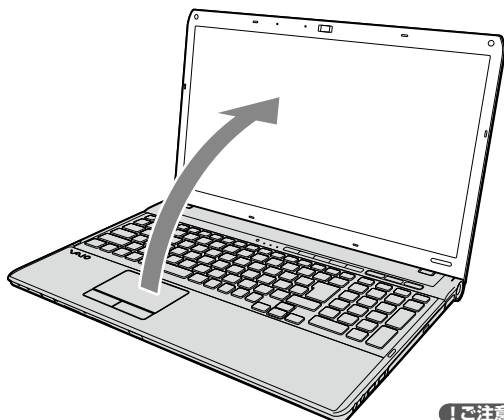
1 リモコンを裏返す。

2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

3 ＋と－の方向を確かめて、－側から付属の単3形乾電池を2本入れる。

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

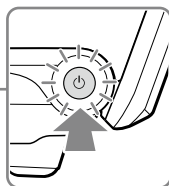
- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液をふく際はご注意ください。
- 乾電池は充電しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

4 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

準備3

電源を入れる

1 ディスプレイパネルを開く。

！ご注意

ディスプレイパネルを開くときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）部分は持たないでください。故障の原因となります。

2 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら指を離す。

本機の電源が入り、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（34ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意

- 4秒以上⏻(パワー)ボタンを押したままにすると、電源が入りません。
- ディスプレイパネルを閉じた状態で⏻(パワー)ボタンを押しても電源は入りません。
- 本機の内蔵カメラ右側付近には磁気を帯びた部品が使用されているため、フロッピーディスクなどを近づけないでください。磁気により記録されているデータが破損されることがあります。
- 本体前面の中央付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スリープモード(お買い上げ時の設定)に移行します。本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

省電力動作モードについて

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スリープ*1)。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタン*2を一瞬押してください。

*1 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。)

*2 ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

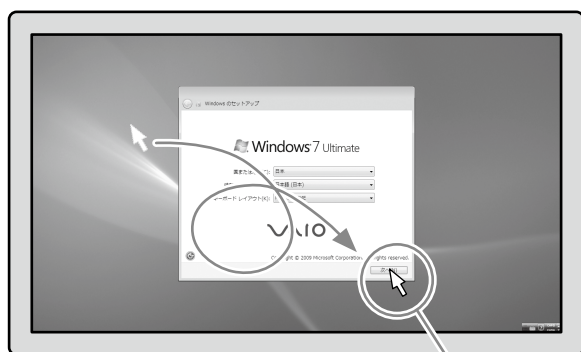
バッテリーを上手に使うには

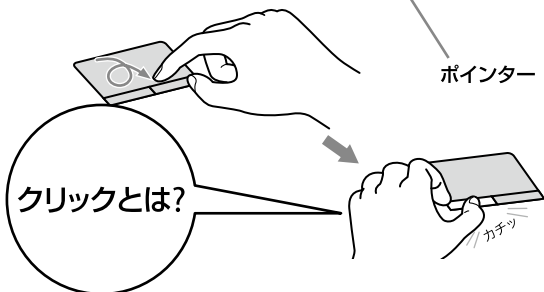
本機をバッテリーで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリーを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリーを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープや休止状態にすることで、バッテリーを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。)

準備4

Windowsを準備する

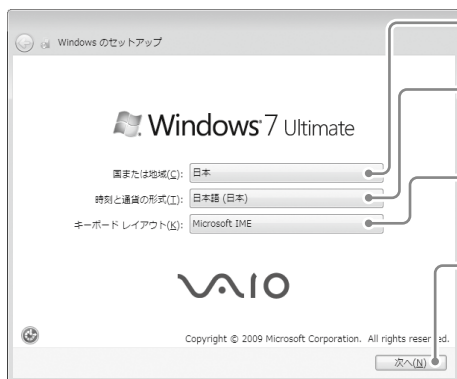
電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。

ヒント

- Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。
- 画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインターを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

1 電源を入れる。

⏻(パワー)ボタンを押し(32ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。電源を切らずにそのままお待ちください。

!ご注意

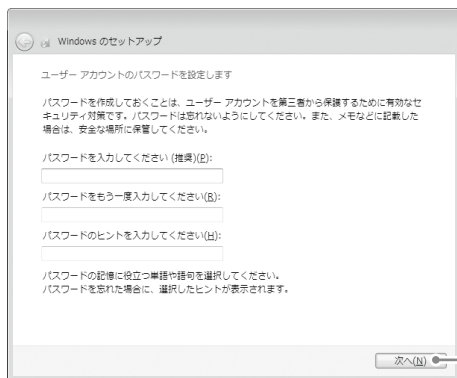
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

ヒント

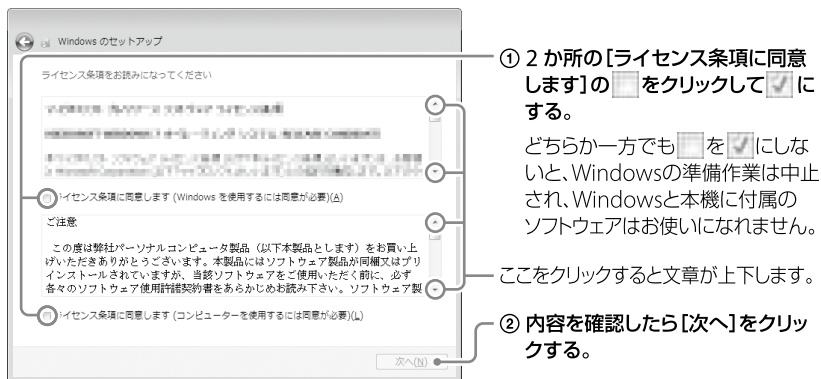
- 機種によっては、OSの名称が異なることがあります。
- 英語キーボードを選択した場合も、[Microsoft IME]を選択してください。

3 ユーザー名とコンピューター名を設定する。

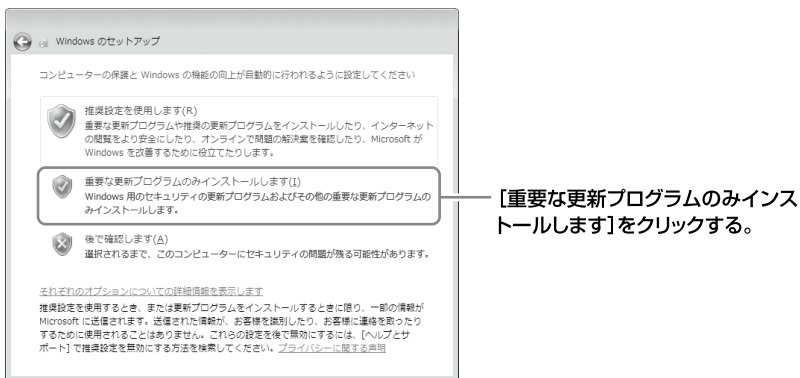
ヒント
ユーザー名やコンピューター名はWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。

4 次の画面へ進む。

[次へ]をクリックする。

ヒント
パスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
パスワードの作成／変更／削除について、詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [セキュリティー] – [Windowsパスワードを設定する]をクリックする。）

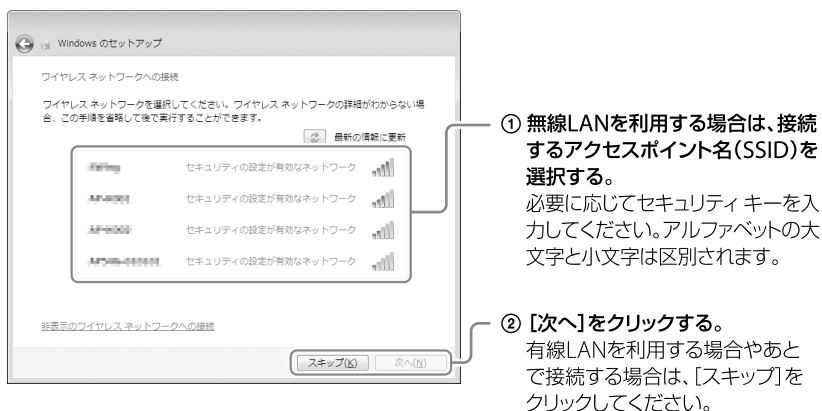
5 「ライセンス条項」の内容を確認する。

ヒント
画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

6 コンピューターの保護の設定をする。

[重要な更新プログラムのみインストールします]をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

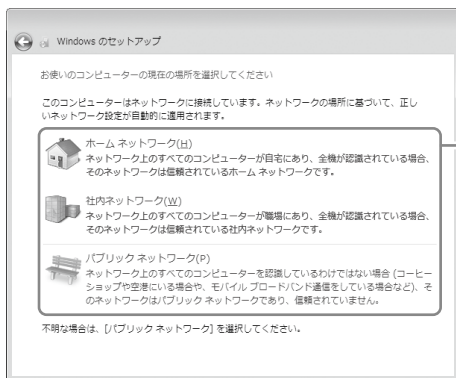
8 無線LANアクセスポイントの準備ができている場合は、ワイヤレスネットワークに接続する。有線LANを使う場合は、次の画面へ進む。

ここでの接続はスキップできます。スキップしても、セットアップ完了後にアクセスポイントに接続できます。（48ページ）

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- 「この接続を自動的に開始します」にチェックをすると、次回から、選択した無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続します。
- 無線LANアクセスポイントのSSIDやセキュリティ キーがわからない場合は、アクセスポイントを設定した人に聞いてください。

9 コンピューターを使用する場所を選択する。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピューターを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

設定が完了するまでしばらくお待ちください。設定が完了すると、自動的にデスクトップ画面が表示されます。「VAIOをはじめる前の準備」が表示されたら、次の手順へ進んでください。

10 「VAIO をはじめる前の準備」を行う。

画面の指示に従って設定などを行ってください。

ヒント

- 「VAIO をはじめる前の準備」は、完了すると次回からは表示されなくなり、デスクトップ画面上のアイコンも削除されます。
- [VAIO お引越サポートを起動する]をクリックすると、今までお使いのコンピューターからデータや設定などを転送できます。

リカバリーメディアについて

セットアップが完了すると、リカバリーメディア作成を促すバルーンが表示されます。
リカバリーメディアの作成について詳しくは、「リカバリーメディアを作成する」（62ページ）をご覧ください。

パスワードについて

パスワードなどのセキュリティー設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るために有効です。パスワードを忘れるとリカバリーが必要になる場合があるため、Windowsのヘルプとサポートを参照して、パスワード リセット ディスクを作成することをおすすめします。
パスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になる場合があるため、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。パスワードを解除するための修理（有償）のときは、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIO 電子マニュアル］をクリック！

準備5

テレビの設定を行う

デジタル放送の設定を行う（テレビチューナー搭載モデル）

デジタル放送を楽しむには、「Giga Pocket Digital」を使用します。
「Giga Pocket Digital」をはじめてお使いになるときは、チャンネル設定など初期設定をする必要があります。

ヒント
デジタル放送についての詳しい操作方法や「Giga Pocket Digital」の使いかたなどについて詳しくは、「Giga Pocket Digital」のヘルプまたは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Giga Pocket Digital テレビを見る]をクリックする。

「Giga Pocket Digital」の初期設定画面が表示されます。

ヒント
デジタル放送の双方向サービスは、インターネットを経由して利用できます。
双方向サービスを利用しない場合は、LANケーブルの接続は不要です。

2 アンテナ接続やB-CASカードの挿入を確認し、[次へ]をクリックする。

アンテナ接続やB-CASカードの挿入方法については、「準備2 接続する」（23ページ）をご覧ください。

3 画面の指示に従って、以下の設定を行う。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

- 地域設定画面では、お住まいの地域を選択し、郵便番号を7桁で入力してから、[次へ]をクリックします。
- チャンネル設定画面では、[開始]をクリックします。

ヒント
郵便番号は、データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

チャンネルスキャンの結果を確認し、[次へ]をクリックする。

表示されたチャンネルが少ない場合は、[戻る]をクリックして前の画面に戻り、アンテナの接続を確認したうえで再度[開始]をクリックしてください。
それでも少ない場合は、拡張スキャンを行ってください。

ヒント
- CATVのチャンネルをスキャンする場合は、[拡張スキャンを行う]をクリックします。
  CATVのスキャンが開始され、結果が表示されたら[次へ]をクリックしてください。
- 「Giga Pocket Digital」では、CATV事業者側で受信した地上デジタル放送の変調方式を変更せずに再送信するパススルー方式に対応しています。パススルー方式には、周波数を変換するものとそのままのものがありますが、「Giga Pocket Digital」はどちらの方式にも対応しています。

5

設定完了画面が表示されたら、[終了]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。
表示されない場合は、すでにVAIO オリジナル機能の設定が完了しています。

ヒント
- VAIO オリジナル機能の設定を行うと、ダイジェスト再生をしたり、CMや店舗／商品情報を表示したりして、デジタル放送を楽しむことができます。
- VAIO オリジナル機能の設定を変更するときは、ビデオ一覧画面を表示し、ツールバーの 右にある▼から[VAIO 解析マネージャーの設定]を選択して設定を変更してください。設定については、「VAIO 解析マネージャー」のヘルプをご覧ください。

コンテンツ解析について

「Giga Pocket Digital」は、録画した番組コンテンツに対して、「VAIO 解析マネージャー」を使って録画したコンテンツの解析を行います。（コンテンツ解析）
解析されたコンテンツは、ダイジェスト再生やカタログビュー再生を可能にしたり、付加された情報を使ってコンテンツを管理しやすくしたり、CMや店舗／商品情報の表示をしたりすることができます。
「VAIO 解析マネージャー」については、「VAIO 解析マネージャー」のヘルプをご覧ください。

！ご注意
コンテンツ解析を行うには、インターネットに接続しておく必要があります。

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑「Windows Update」を実行してください。

より安定した状態でVAIOをお使いいただくために、「Windows Update」を実行してください。
（ （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。）

❑「VAIO Update」を実行してください。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（45ページ）
（[ソフトウェアの使いかた]－[VAIO Update]をクリックする。）

❑ 製品の登録を行ってください。

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の製品登録（無料）]をクリックしてください。

製品の登録に関するお問い合わせ先
My Sony Clubお客様窓口
フリーダイヤル：0120-735-106
携帯電話・PHS・一部のIP電話：0466-31-5129
受付時間：平日　9時～ 18時
　　　　　土曜、日曜、祝日　9時～ 17時
　　　　　（年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。）

製品の登録について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（45ページ）
（[サービスとサポート]－[製品の登録]－[製品を登録する]をクリックする。）

❑ リカバリーメディアを作成してください。

パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリーメディアを作成してください。リカバリーメディアの作成について詳しくは、「リカバリーメディアを作成する」（62ページ）をご覧ください。

❑ 電子メールを使いたい。

「Windows Live メール」を使って、電子メールをやりとりできます。
（ （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Live]－[Windows Live メール]をクリックする。）

❑「Microsoft Office（Word、Excel）」を使いたい。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（45ページ）
（[ソフトウェアの使いかた]－[Microsoft Office（Word ／ Excel）]－[Wordを起動する]または[Excelを起動する]をクリックする。）

本機をお使いになる際のご注意

機器の底面や排気口付近は熱くなります。
低温やけどの原因となることがあるため、長時間これらの部分に触れないでください。

電源を切るには

**電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。**

1 作業中のデータを保存して、すべてのプログラムを終了する。

2 (スタート)ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

3 [シャットダウン]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント

お買い上げ時の設定では、⏻(パワー)ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリーに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。)

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルの使いかた

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 **（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。**

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。
「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

VAIO 電子マニュアルの基本操作

1 大項目を選ぶ
「コンピューター本体の使いかた」や「Q&A 集」など、調べたい項目を選びます。

2 目的の情報を選ぶ
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。
さらに表示される一覧から必要な情報を選びます。

3 表示された説明を読む
画面の右側に情報が表示されます。

ヒント
「VAIO 電子マニュアル」に表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

ソフトウェアの探しかた

「VAIO ナビ」を使うと、使用目的にあった項目をクリックするだけで、最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。
やりたいことが決まっているけれど、どのソフトウェアを起動すればいいかわからないときなどに便利です。
「VAIO ナビ」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO ナビの使いかた

VAIO ナビを表示する

1 **（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO ナビ]をクリックする。**

「VAIO ナビ」が表示されます。

VAIO ナビの基本操作

1 **大項目を選ぶ**
「写真・ビデオ」や「音楽」など、やりたいことのジャンルを選びます。

2 **目的の内容を選ぶ**
表示される一覧から、目的に合った項目を選びます。

3 **ソフトウェアを利用する**
ソフトウェアを起動することや、解説を読むことができます。

ヒント
「VAIO ナビ」に表示される項目や内容は、お使いの機種により異なります。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピューター同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。

インターネット／メールに関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダー接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバーなど）	プロバイダー
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダー
コンピューター側の設定	VAIOカスタマーリンク

電子メールについて

電子メールのやり取りには、「Windows Live メール」を使います。（（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Windows Live］－［Windows Live メール］をクリックする。）
電子メールの設定については、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［インターネット］－［ホームページ／電子メール］－［電子メールを設定する］をクリックする。）

インターネットの接続方法について

本機にLANケーブルを接続する方法（有線LAN）と本機にLANケーブルを接続しない方法（無線LAN）があります。
インターネット接続機器については、「インターネット接続用機器につなぐ」（27ページ）をご覧ください。

無線LANで通信する

インターネット接続用機器の接続と設定が完了し、無線LANアクセスポイント（無線LANルーター）の電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の［コンピューター本体の使いかた］－［LAN ／無線LAN］と、Windowsのヘルプをご覧ください。

ヒント
無線LANアクセスポイントの機種によっては、無線LAN接続設定を自動で行うものがあります。自動接続設定を利用するためには、無線LANアクセスポイントに付属のソフトウェアを本機にインストールする必要があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 本体正面のWIRELESSスイッチを「ON」に合わせる。

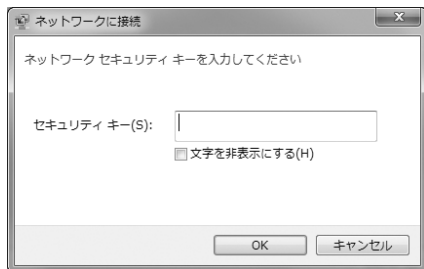
ワイヤレス機能がオンになり、WIRELESSランプが緑色に点灯します。
デスクトップ画面右下の通知領域にある（VAIO Smart Network）アイコンをクリックして「VAIO Smart Network」を表示し、無線LANが有効になっていることを確認してください。無効の場合は、有効に設定してください。

2 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク（または）アイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示され、使用可能な無線LANアクセスポイント名（SSID）が表示されます。

ヒント
お使いの無線LANアクセスポイントのSSIDがわからない場合は、無線LANアクセスポイントを設定した人に聞いてください。

3 画面のリストから接続先の無線LANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。

接続されると、選択した無線LANアクセスポイントの欄に「接続」と表示されます。
リストに接続先の無線LANアクセスポイントが見つからない場合は、(更新)をクリックしてください。
セキュリティー キーを入力する画面が表示されたときは、必要に応じてセキュリティー キーを入力し、[OK]をクリックしてください。

入力時はアルファベットの大文字と小文字が区別されますのでご注意ください。

ヒント
セキュリティーキーがわからない場合は、無線LANアクセスポイントを設定した人にご確認ください。

4 タスクバーの(Internet Explorer)アイコンをクリックする。

VAIOホームページが表示されたら、インターネットに接続されています。表示されない場合は、「VAIO 電子マニュアル」の[コンピューター本体の使いかた]－[LAN ／無線LAN]と、Windowsのヘルプをご覧ください。

接続先を新規に作るには

新規のワイヤレスネットワークに接続する場合は、接続先を作成します。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にあるネットワーク(または)アイコンをクリックする。

「現在の接続先」画面が表示されます。

2 [ネットワークと共有センターを開く]をクリックする。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

3 [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックする。

4 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します]を選んで、[次へ]をクリックする。

5 お使いになる無線LANアクセスポイントに合わせて各項目を設定し、[次へ]をクリックする。

接続先が追加されます。
切り替え先の無線LANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

- 「セキュリティの種類」に「認証なし(オープン システム)」以外を選択した場合は、「セキュリティ キーまたはパスフレーズ」の入力が必要です。
- 無線LANアクセスポイントを認識したときに自動で接続したいときは、[この接続を自動的に開始します]のチェックボックスをオンにします。
- 無線LANアクセスポイントのネットワーク名(SSID)について、ステルスモードまたはクローズドシステムをお使いの場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックボックスをオンにします。

無線LANの通信を終了するには

WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせます。無線LAN機能がオフになり、WIRELESSランプが消灯します。

!ご注意

BLUETOOTH機能など他のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESSスイッチを「OFF」に合わせると、他のワイヤレス機能もすべて終了します。

インターネットのセキュリティーについて

コンピューターを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピューターを守るためのセキュリティーについてご紹介いたします。

コンピューターウイルスとは

コンピューターウイルスとは、コンピューターに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピューターウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。
コンピューターウイルスの感染経路や被害の例について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[インターネットについてのご注意]－[インターネットのセキュリティーについて]をクリックする。）

コンピューターウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピューターウイルスに感染することはほとんどなくなります。

コンピューターウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピューターウイルス対策用ソフトウェアは、コンピューター内にコンピューターウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピューターウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」があらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」を設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。
また、お使いの機種によってはスパイウェア対策を行う「Spy Sweeper」も用意されています。

！ご注意

複数のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを同時に使用すると、正常に動作しない場合があります。「マカフィー・PCセキュリティセンター」以外のコンピューターウイルス対策用ソフトウェアを使用する場合は、「マカフィー・PCセキュリティセンター」をコントロールパネルからアンインストール（削除）してください。削除方法について詳しくは、Windowsのヘルプとサポートをご覧ください。コンピューターウイルス対策用ソフトウェアについて詳しくは、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
なお、「マカフィー・PCセキュリティセンター」を削除後の本機の動作保証はいたしません。

Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピューターウイルスは、コンピューターウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
Windowsのセットアップでコンピューターの保護の設定を有効にしていると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意
Windows Updateにて提供されるドライバーの更新はおすすめしません。ドライバーの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバーを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバーを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/windows/update/

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピューターに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」のファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティーについて

セキュリティーやコンピューターウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティーやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティー情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティーに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティー専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
（0466)30-3016（通話料お客様負担）
受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

セキュリティーソフトウェアのお問い合わせ先について

マカフィー・PCセキュリティセンター

1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
- 製品のインストールに関するお問合せ
- マカフィー製品の使いかた、設定方法
- マカフィー製品に絡むコンピューターの障害

2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
- ユーザー登録方法
- 契約情報の確認、更新
- キャンペーンに関するご相談

電話番号：
1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
（0570）060-033
（03）5428-2279（IPフォン・光電話のかたはこちらへ）
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（0570）030-088
（03）5428-1792 （IPフォン・光電話のかたはこちらへ）
※いずれのセンターも通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

受付時間：
1　マカフィー･テクニカルサポートセンター
年中無休　9時～ 21時
2　マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜～金曜　9時～ 17時（祝日、祭日は除く）
電子メール：
＜お問合せ専用Webフォーム＞
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/tscontact.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/cscontact.asp
ホームページ：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

Spy Sweeper

ウェブルート•ソフトウェア　カスタマーサポートセンター
電話番号：（0570）055250
受付時間：月曜～日曜：10時～ 12時、13時～ 19時（年末年始を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
http://www.webroot.co.jp/

i-フィルター 5.0

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話番号：月曜～金曜：（03）3580-5678
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：（0570）00-1334
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
土曜、日曜、祝日、デジタルアーツ株式会社休業日：10時～ 20時
ホームページ：
よくある質問：http://www.daj.jp/faq/
ユーザーサポートお問い合わせフォーム：
http://www.daj.jp/ask/

増設する

メモリーを増設する

メモリーを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
また、2か所以上のスロットにメモリーモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、さらにパフォーマンスが向上します。
お使いの機種のメモリーについては、別紙「主な仕様」をご覧ください。

メモリーを増設するときのご注意

- メモリーの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリーの増設を行った場合には、内部端子の接続不備や破損、メモリーの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリー増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリー増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリー増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリー増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリーモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリーモジュールの販売元にご相談ください。

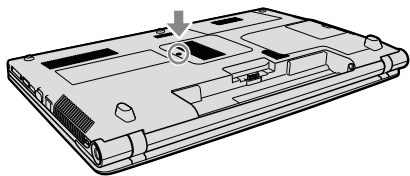
メモリーを取り付けるには

！ご注意

- メモリーモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリーを取り付けた状態でメモリーモジュールを取り付けると、メモリーモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリーモジュールを破壊しないように、メモリーモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリーモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリーモジュールを持つときは半導体や端子に触れないようにしてください。
- メモリーモジュールには、向きがあります。メモリーモジュールのエッジ端子の切り欠き部分とスロットの端子（溝の内側）部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリーモジュールをスロットに押し込むと、メモリーモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

底面のネジをプラスドライバーで取りはずします。

!ご注意

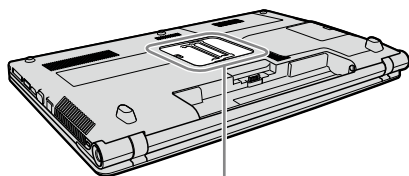
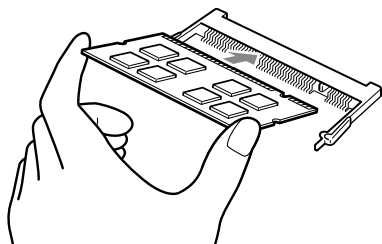
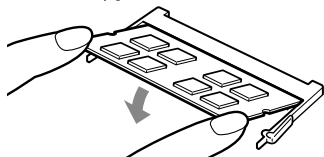
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3 本機の金属部などに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリーモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4 メモリーモジュールを取り付ける。

① メモリーモジュールのエッジ端子部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリーモジュールをゆっくりと倒す。
メモリーモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリーモジュールの黒いICの部分を触らないでください。

① メモリーモジュールの両端を持って、端子部分から差し込む

② メモリーモジュールの両端を、両手を使って押し、「カチッ」と音がするまで倒す

!ご注意

- メモリーモジュール以外の部品や基板などには触れないようにご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6 手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付けて、本機の電源を入れる。

メモリー容量を確認するには

メモリーモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリー容量を確認してください。

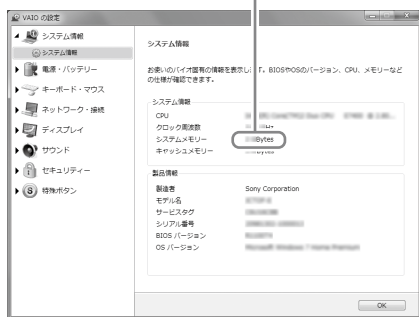
1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO の設定]をクリックする。**

「VAIO の設定」画面が表示されます。

2 **[システム情報]－[システム情報]をクリックする。**

「システム情報」画面が表示されます。

3 **「システムメモリー」の項目が増設後のメモリー容量になっていることを確認する。**

メモリーの容量が正しければ、メモリーの増設は完了しました。
メモリーの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリーモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

メモリーを取りはずすには

!ご注意

- メモリーモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリーモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリーモジュールを破壊しないように、メモリーモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリーモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリーモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

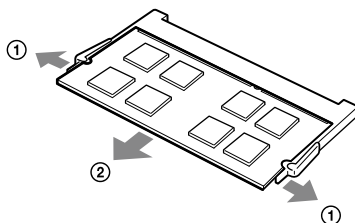
1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

2 **「メモリーを取り付けるには」の手順2を行う。**

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリーモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリーモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリーモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

5 手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付ける。

バックアップ

バックアップとは

バックアップとは、コンピューターに保存されたデータをDVDなどのメディアや外付けハードディスクなどにコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。

バックアップの必要性

本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピューターウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。
バックアップについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[増設／ BIOS ／バックアップ／リカバリー] – [バックアップ] – [バックアップとは] をクリックする。）

バックアップと復元を行う

ここでは、Windowsが起動しない場合のデータバックアップや復元方法について説明します。

ヒント
Windowsが起動する場合のデータバックアップや復元方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[増設／ BIOS ／バックアップ／リカバリー] – [バックアップ] – [バックアップと復元を行う] をクリックする。）

「VAIO Care レスキュー」を使ってデータをバックアップする

1 本機の電源が切れている状態でASSISTボタンを押し、「VAIO Care レスキュー」を起動する。

2 [ツール] – [VAIO データレスキューツール] をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

ヒント
バックアップ方法で、[高度なレスキュー] を選択した場合は、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

バックアップデータを復元する

システムの復元ポイントから復元する

システムの復元ポイントの作成を行っていた場合は、復元ポイントから復元して本機の調子が悪くなる前の状態に戻すことができます。

1 **本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。**

「Windows ブートマネージャー」画面が表示されます。

ヒント

リカバリーメディアを使わずにシステムの復元ポイントから復元することもできます。
本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを繰り返し押してください。
「詳細ブート オプション」画面が表示されたら、一番上の「コンピューターの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押し、手順3に進んでください。

2 **矢印キーで「Windows 回復環境 (Windows RE) 」を選択し、Enterキーを押す。**

3 **キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。**

ヒント

- Windows 7 Ultimate搭載モデルをお使いの場合で、BitLockerドライブ暗号化をご使用の場合は、「BitLockerドライブ暗号化の回復」画面が表示されることがあります。暗号化を一時的に解除しますので、画面の指示に従って設定してください。
- F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順5へ進んでください。

4 **オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。**

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 **[システムの復元]をクリックする。**

「システムの復元」画面が表示されます。

6 **[次へ]をクリックする。**

7 **復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。**

復元ポイントの確認画面が表示されます。

8 **表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。**

9 **確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。**

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

10 **完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。**

「VAIO Care レスキュー」を使ってバックアップしたデータを復元する

本機の状態が回復したら、ファイルのバックアップデータを復元します。
復元方法について詳しくは、「VAIO データリストアツール」のヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO データリストアツール］をクリックする。

「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、［次へ］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

以降、画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- Windowsの「バックアップと復元」でバックアップしたデータの復元方法は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［増設／ BIOS ／バックアップ／リカバリー］－［バックアップ］－［バックアップと復元を行う］－［バックアップデータを復元するには］をクリックする。）
- 復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダーから移動してお使いください。

リカバリー(再セットアップ)

リカバリーとは

本機のハードディスクまたはSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリー」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリーを行います。

- コンピューターウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリーには、リカバリー領域からリカバリーする方法とリカバリーメディアを使ってリカバリーする方法の2種類があります。

!ご注意
リカバリーメディアは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ずリカバリーメディアを作成してください。

リカバリー領域とは

リカバリー領域とは、リカバリーを行うために必要なデータがおさめられているハードディスクまたはSSD内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリー領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたはSSDの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリー領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーできなくなる場合があります。

ヒント
本機は、リカバリー用のデータを削除して、リカバリー領域を最小化することができます。

リカバリーメディアの必要性

リカバリーメディアは、本機のハードディスクまたはSSDの内容をお買い上げ時の状態に戻すときに使用します。
本機は、リカバリーメディアを使用しなくても、ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーすることができますが、下記のような操作を行った場合にリカバリー領域の情報を書き替えてしまい、リカバリー領域からリカバリーできなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO Care レスキュー」を使用しないでハードディスクまたはSSDをフォーマットする

このような場合はリカバリーメディアによるリカバリーが必要となりますが、リカバリーメディアを作成していないと、リカバリーメディアを購入したり、有償による修理が必要となりますので、必ず事前にリカバリーメディアを作成してください。

リカバリーやリカバリーメディアの作成に使用するソフトウェア

リカバリーやリカバリーメディアの作成は、下記のソフトウェアを使って行います。

- **「VAIO Care」**
  リカバリーメディアを作成したり、「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査したりすることができます。
- **「VAIO Care レスキュー」**
  本機をリカバリーしたり、Windowsが起動しない状態でデータをバックアップしたりすることができます。
  また、ハードディスクまたはSSDのデータを完全に消去する場合に使用します。

ヒント
使いかたについて詳しくは、「VAIO Care」および「VAIO Care レスキュー」のヘルプをご覧ください。

リカバリーメディアを作成する

ヒント

- リカバリーメディア用のディスクは、DVD-Rの使用をおすすめします。お使いのディスクドライブが対応している場合は、DVD+R DL ／ DVD-R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-RWも使用できます。
  必要なディスクの枚数は、下記の手順3の画面で確認してください。
- リカバリーメディアを作成する前に、VAIO Updateを実行して本機をアップデートすることをおすすめします。
  VAIO Updateについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた]－[VAIO Update]をクリックする。）
  VAIO Updateが搭載されていないモデルをお使いの場合は、VAIOサポートページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）からお客様が選択されたモデルに該当するアップデートプログラムをダウンロードし、インストールしてください。
  また、本機をリカバリーした際には再びVAIO Updateを実行してください。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Care]－[VAIO Care]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「VAIO Care」画面が表示されます。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

2 画面左側の[リカバリーと復元]－[リカバリー]をクリックし、右側の画面に表示された[リカバリーメディアの作成]をクリックする。

3 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

リカバリーメディアの作成に必要なディスクの枚数や使用できるメディアの種類が表示されます。

4 使用するディスクをドライブに挿入する。

以降、画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

- リカバリーメディアの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリーメディア作成の失敗の原因になる場合がありますので、作成中はドライブのイジェクトボタンを押さないでください。
- 作成したリカバリーメディアは、なくさないよう大切に保管してください。

リカバリーメディアのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリーメディアを有償にてご提供するサービスを行っています。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/service/recoverydisc/

* ホームページからお申し込みいただくには、製品の登録が必要です。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート]－[製品の登録]－[製品を登録する]をクリックする。）

リカバリーする

本機をリカバリーするには、以下の2種類の方法があります。

- リカバリー領域からリカバリーする
  ハードディスクまたはSSDのリカバリー領域からリカバリーするため、リカバリーメディアを使うよりも速くリカバリーすることができます。
- リカバリーメディアを使ってリカバリーする
  リカバリー領域のデータを破損または削除してしまっている場合に、リカバリーメディアを使ってリカバリーすることができます。ただし、リカバリー領域からリカバリーするよりも時間がかかります。

リカバリー領域からリカバリーするには

1　本機の電源が切れている状態でASSISTボタンを押し、「VAIO Care レスキュー」を起動する。

ヒント

ASSISTボタンを使わずに「VAIO Care レスキュー」を起動することもできます。
本機の電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押してください。
ブートオプション(Boot Options)を編集する画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。

2　[リカバリーウィザード開始]をクリックする。

「リカバリーを開始しますか?」画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作してください。

3　[はい、開始します]チェックボックスにチェックを付け、[リカバリー開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- すべてのパーティションがお買い上げ時の状態に戻ります。C:ドライブのみをリカバリーする場合などは、[ツール]－[高度なリカバリーウィザードを開始]をクリックしてください。
- [ツール]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリーを行う前にハードウェア(CPU、メモリー、ハードディスクまたはSSD)の検査を行うことができます。
- リカバリー用のデータを削除していない場合は、複数のリカバリーメディアのうち、一部を使用せずにリカバリーが完了することがあります。

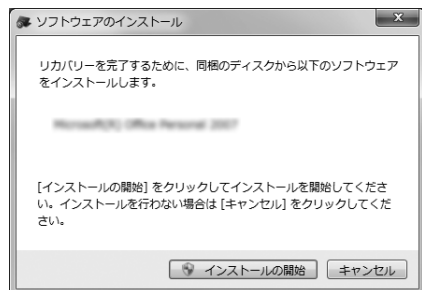
Windowsのリカバリーが完了すると、本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

4　画面の指示に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでシステムのリカバリーが完了しました。

「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」プリインストールモデルをお使いの場合は、引き続き次の画面が表示されます。[インストールの開始]をクリックし、以下の手順で「Microsoft Office」をインストールしてください。

① 「Office Personal 2010」、「Office Home and Business 2010」または「Office Professional 2010」のディスクをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。

④ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
「VAIO Care レスキュー」でバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「「VAIO Care レスキュー」を使ってバックアップしたデータを復元する」をご覧ください。(60ページ)

リカバリーメディアを使ってリカバリーするには

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリーメディアを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「Windows ブート マネージャー」画面が表示されます。

2 矢印キーで「VAIO Care レスキュー」を選択し、Enterキーを押す。

以降、「リカバリー領域からリカバリーするには」の手順2からの操作と同様です。

リカバリーが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
「VAIO Care レスキュー」でバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「「VAIO Care レスキュー」を使ってバックアップしたデータを復元する」をご覧ください。(60ページ)

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、次のいずれかの解決方法をお試しください。また、メッセージなどが表示されている場合は書き留めておいてください。お問い合わせのときに、必要になることがあります。

1 本書と電子マニュアルで調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（68ページ）

コンピューターが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
コンピューターが動作するときは、より詳しい情報が掲載されている「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（85ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windows ヘルプとサポート」をご覧ください。（87ページ）

「Windows ヘルプとサポートを見る」（87ページ）をご覧ください。

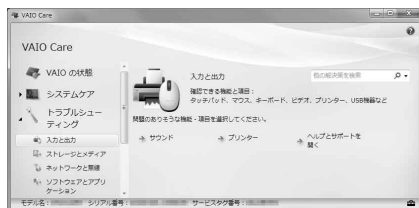
各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（87ページ）

2 VAIO Care で調べる

「VAIO Care」の「トラブルシューティング」をお試しください。（87ページ）

「VAIO Care」の「トラブルシューティング」では、問題の原因と対処方法を調べることができます。項目を選んでいくだけで、診断ツールが問題を分析し、解決方法が見つかった場合は自動で解決します。

起動するには

本機の電源が入っている状態で、本機のASSISTボタンを押してください。

！ご注意

本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2010年6月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。（88ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOサポートページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1 ～ 3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（88ページ）

❑ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。
電話番号や営業時間など詳しくは、「電話で問い合わせる」（88ページ）をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、VAIOサポートページの「付属ソフトウェアに関するお問い合わせ」をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/software.html
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリーが正しく装着されているか確認してください。（25ページ）

A 本機とACアダプター、ACアダプターと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（30ページ）

A バッテリーの残量がまったく無い可能性があります。
バッテリーの充電について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [バッテリーの充電／表示の見かた]をクリックする。）

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラーが停止している可能性があります。
ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン − [すべてのプログラム] − [VAIO 電子マニュアル]をクリック！

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（充電ランプがすばやく点滅している）

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（25ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
バッテリーを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。）

A メモリーモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。
サポート対象外のメモリーモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリーモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリーモジュール以外のメモリーモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリーモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか？」というメッセージが表示されるので、[保存する]などをクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]を選択して[OK]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows 7は、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバーによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「シャットダウンしています」などと表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の (シャットダウン)ボタンをクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプターとバッテリーをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプターで使用するか、バッテリーを充電してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[バッテリーの充電／表示の見かた]をクリックする。）

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリーが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリーを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（25ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリーは本機では使用できません。
システムに異常があります。本機の電源が切れたあと、バッテリーを取りはずし、純正の新しいバッテリーと交換してください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A Windowsの準備をしようとすると「予期しないエラーが発生しました」というメッセージが表示される場合、「Windowsのセットアップ」画面が表示される前に電源を切ってしまった可能性があります。
「リカバリーする」（63ページ）の手順に従って、リカバリーを行ってください。

A 「Remove disks or other media. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合は、USB機器の接続状態について確認してください。

- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や自作のリカバリーメディアを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリーしてください。

A パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」と表示されWindowsが起動しません。

本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

なお、パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力してください。

A 「Checking file system on C:」と表示される場合、起動するまでしばらくお待ちください。

A 「Windows Error Recovery」と表示される場合、「Start Windows Normally」が選択されていることを確認し、Enterキーを押してください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows Error Recovery」（黒い画面）が表示されます。

その場合は、「Start Windows Normally」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

Q 充電ランプの表示について知りたい。

A バッテリーの動作状態により、充電ランプの表示が異なります。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] − [電源の管理／起動] − [バッテリーの充電／表示の見かた] をクリックする。）

パスワード

Q Windowsパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピューターの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピューターの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されていない場合、パスワード設定を解除することはできません。「リカバリーする」(63ページ)の手順に従って、リカバリーを行ってください。

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている、またはディスプレイのバックライトが消灯している場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながらF7キーを繰り返し押して出力したい画面を選択し、Enterキーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [キーボード／タッチパッド] – [Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源で使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリーで使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] – [電源の管理／起動] – [電源オプションを変更する]をクリックする。）

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプターとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面が固まって、ポインターやウィンドウなどすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、[タスク マネージャーの起動]をクリックする。
「Windows タスク マネージャー」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャー」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押し、画面右下の　（シャットダウン）ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

文字入力／キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A 🔒(Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
🔒(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 数字キーで数字が入力できない場合は、🔒(Num Lock)ランプが消灯していないか確認してください。
消灯しているときは、数字キーは矢印キーなど、キーの下側に表記されている機能と同じ働きをします。
Num Lkキーを押して、ランプを点灯させてから数字を入力してください。

A 英語配列キーボードをお使いの場合は、Altキーを押しながら[`]キーを押すと、日本語入力モードと英字入力モードを切り替えることができます。

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバーの設定を変更してください。
なお、この操作は「コンピューターの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

！ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。
    ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① (スタート)ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
② [システムとセキュリティ]をクリックする。
③ 「システム」の[デバイス マネージャー]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。
「デバイス マネージャー」画面が表示されます。
④ [キーボード]をダブルクリックする。
⑤ [標準 PS/2 キーボード](または[101/102英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2]や[日本語 PS/2 キーボード(106/109)])を右クリックして、[ドライバー ソフトウェアの更新]を選択する。
「ドライバー ソフトウェアの更新」画面が表示されます。
⑥ [コンピューターを参照してドライバー ソフトウェアを検索します]をクリックする。
⑦ [コンピューター上のデバイス ドライバーの一覧から選択します] をクリックする。
⑧ [互換性のあるハードウェアを表示]のチェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[標準 PS/2 101/102 キーボード]を選択して、[次へ]をクリックする。
ドライバーの更新警告画面が表示された場合は[はい]をクリックします。
⑨ 「ドライバー ソフトウェアが正常に更新されました。」と表示されるので、[閉じる]をクリックする。
⑩ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
コンピューターが再起動します。再起動後に、キーボード配列が英語キーボードになります。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] − [キーボード／タッチパッド] − [タッチパッドの基本操作] をクリックする。）

Q ポインターが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインターが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインターを動かしてください。

それでもポインターが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （シャットダウン）ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の （矢印）ボタン − [再起動] をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク／ SSD

Q 誤ってハードディスクまたはSSDを初期化してしまった。

A ハードディスクまたはSSDにあったファイルは、復元できません。
ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や、ご自分で作成したリカバリーメディアを使って、本機をリカバリーする必要があります。（63ページ）

Q C:ドライブとは別のドライブを作成したい。

A パーティションを作成すると、別のドライブ（D:ドライブなど）として使うことができます。
パーティションの作成方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[ハードディスク／ SSD]－[パーティションを作成する]をクリックする。）

CD ／ DVD ／ BD

Q ディスクの読み込み･再生ができない、ドライブがディスクを認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。

使用できるディスクについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] − [CD ／ DVD ／ BD] − [使用できるディスクとご注意] をクリックする。）

A ディスクが正しくトレイに置かれているか確認してください。

ディスクは文字や画像が書いてある面を上にして入れてください。

ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた] − [CD ／ DVD ／ BD] − [ディスクを入れる／取り出す] をクリックする。）

A ディスクに汚れや傷がないか確認してください。

A 本機での動作を保証しているドライブか確認してください。

本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。

- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのVAIO専用ドライブ

A 後からインストールした、ディスクの再生・書き込みソフトウェアをアンインストールしてください。

お買い上げ時にプリインストールされているソフトウェア以外のディスク再生・書き込みソフトウェアなどを追加でインストールしている場合、正常にディスクが認識されないことやディスクに書き込めないことがあります。

この場合は、追加したソフトウェアを一度アンインストールしてご確認ください。アンインストールの方法について詳しくは、ソフトウェアのヘルプまたはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

A CPRM（著作権保護機能）対応のDVDを再生するには、WinDVD CPRM Packをインストールする必要があります。

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[ソフトウェアの使いかた] − [WinDVD] − [DVDなどのディスクを見る] をクリックする。）

インターネット

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダーとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダーと契約する必要があります。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダーにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダーから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」(27ページ)をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ]をクリックする。)

Q 無線LANが使えない。

A WIRELESSスイッチが「ON」になっているか確認してください。
WIRELESSスイッチを「ON」にしても無線LANが使えない場合は、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。([Q&A集]－[コンピューター本体]－[LAN ／無線LAN]をクリックする。)

Q 無線LANアクセスポイントのSSIDやセキュリティー キーなどがわからない。

A 無線LANアクセスポイントを設定した方にご確認ください。

A 無線LANアクセスポイントの機種によっては、無線LAN接続設定を自動で行うものがあります。
自動接続設定を利用するには、無線LANアクセスポイントに付属のソフトウェアを本機にインストールする必要があります。
詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

A 無線LANアクセスポイントの設定画面で確認してください。
詳しくは、無線LANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。

デジタル放送(テレビチューナー搭載モデル)

Q 地上デジタル放送が受信できない／ときどき映らない／一部のチャンネルが映らない／画像が乱れる。

A 地上デジタルのアンテナ端子に、地上デジタルに対応したUHFアンテナのアンテナ線をしっかりつないでください。

A 地上デジタルのチャンネルスキャンを行ってください。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された[初期スキャン]をクリックしてください。

A 電波が強すぎたり、弱すぎたりする場合があります。
アッテネーターの設定により、正常に映ることがあります。
「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[受信設定]をクリックし、画面右側に表示された「地上アッテネーターの設定」の設定を変更後、[適用]をクリックしてください。

Q デジタル放送の映像が映らない。

A B-CASカードが正しい向きで挿入されているか確認してください。

A 放送休止中の番組やチャンネルではないかを確認してください。

A 外部モニターに出力する場合は、HDMIケーブルでテレビや外部ディスプレイと接続してください。

Q 他の機器ではテレビ視聴できるが、本機ではテレビ視聴ができない。

A コンピューターに搭載されているチューナーは、テレビなどに搭載されているチューナーとは仕様が異なります。
そのため、ご使用の環境によっては、コンピューターに搭載されるチューナーに適した調整が必要な場合があります。
以下を確認してください。

- 受信電波が強いため、視聴できない場合があります。アッテネーターの設定を調整してください。
- チャンネルがスキャンされていても、アンテナ受信レベルによっては正常に視聴できないことがあります。
  設置されているアンテナの向きが正しいか確認し、必要に応じてブースターを使用してください。

Q チャンネルボタンで選局できない。

A 「Giga Pocket Digital」を起動してください。
それでも選局できない場合は、チャンネルスキャンを行ってください。

A リモコンの数字ボタンに割り当てるチャンネルを設定してください。
チャンネル設定は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[視聴]－[チャンネル一覧]をクリックし、画面右側に表示された設定エリアで行ってください。

Q デジタル放送のチャンネルが切り替わらない。

A 録画実行中はチャンネルを切り換えられないことがあります。

Q 番組表に表示されるデジタル放送の番組が少ない。

A 視聴中の放送局以外の番組情報を取得できないことがあります。
「番組情報自動取得」を設定しておけば、自動的に番組情報を取得します。
番組情報自動取得は、「Giga Pocket Digital の設定」画面で、左側の設定項目から[視聴]をクリックし、画面右側に表示された「番組情報自動取得」で設定してください。

A お買い上げ時や長時間コンピューターを起動していなかった場合など、番組情報が取得されていない場合があります。
番組表を表示しているときに[更新]を選択して、番組情報を取得し直してください。

Q 検索をしたときに表示される番組数が少ない。

A お買い上げ時、または長時間電源コードを抜いた状態のときは、次に電源を入れたあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。
休止状態、電源オフ状態では、放送局が送信する番組情報をデータ取得できないためです。

Q 音声が出ない／音声がおかしい。

A 消音の設定になっていないか確認してください。

A 音量を確認してください。

A BLUETOOTHヘッドホンおよびスピーカーやUSBオーディオ機器から音声は出力されません。

A 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっていないか確認してください。

Q メニューで選べない項目がある。

A 灰色表示されている項目は選べません。
お使いの状態によっては、選べない場合があります。

Q 「B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。」と表示される。

A B-CASカードが奥までしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください。

Q 「この番組はコピープロテクションにより録画できません」と表示される。

A 録画できない番組です。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」で検索する

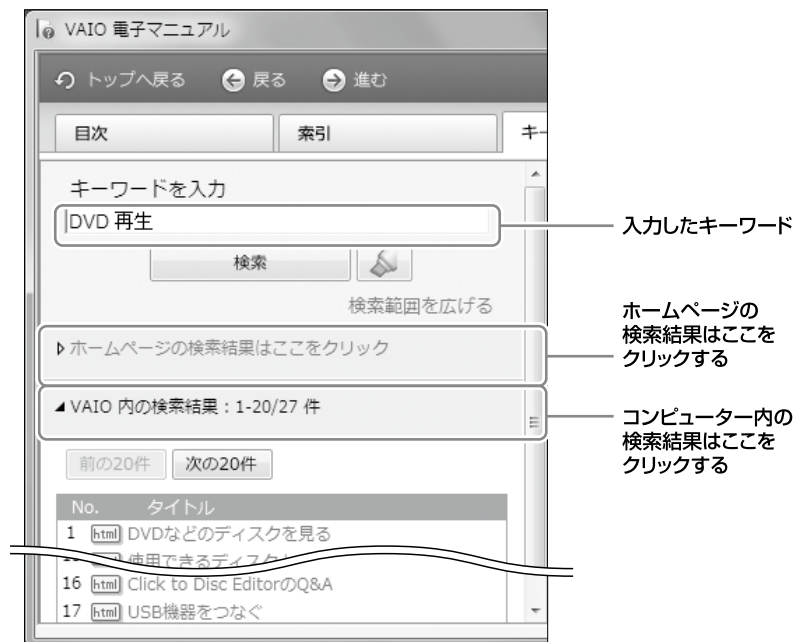
「VAIO 電子マニュアル」では、取扱説明書（本書）より詳しい情報を掲載しています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「VAIO 電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はVAIOサポートページからも情報を検索できます。

1 **（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO 電子マニュアル］をクリックする。**

「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

2 **トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたいキーワード（単語）を入力し、［検索］をクリックする。**

画面左側に検索結果が表示されます。

入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。
(例：DVD　再生)

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

「VAIO 電子マニュアル」やヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
VAIOサポートページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアの詳しい使いかたを知りたいときは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
ヘルプでは、デスクトップ画面上で問題の解決方法についての情報を検索して、表示することができます。

VAIO Careで調べる

本機に付属の「VAIO Care」を使うと、トラブルが起きたときに適切な処置や対応策を調べることができます。
また、VAIOを最適な状態に保つための定期的なチェックも行えます。

VAIO Careを起動するには

電源が入っている状態で、本機のASSISTボタンを押します。

ヒント
電源が入っていない状態でASSISTボタンを押すと、「VAIO Care レスキュー」が起動します。「VAIO Care レスキュー」はリカバリーを行うためのソフトウェアです(61ページ)。

その他のサービスとサポート

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

製品別の最新情報やよくある質問、Q&Aの検索サービスをご提供しています。詳しくは、「VAIO電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [VAIOサポートページ] − [VAIOサポートページで調べる] をクリックする。）

電話で問い合わせる

「使い方相談窓口」のご利用について

「使い方相談窓口」は、VAIOをご購入された日から1年間は無料でご利用いただけます。（「製品登録」が必要）。2年目以降のお客様によるご利用は有料です。「VAIO使い方有料サポート」をご利用ください。
「使い方相談窓口」をご利用いただく前に、VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」をお読みください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html
音声ガイダンスの操作手順に従ってクレジットカード情報をご入力いただく場合があります。ただし、ご入力いただいた時点では課金されません。
お問い合わせが有料となる場合は、課金の前にオペレーターよりご案内いたします。

❑ 無料と有料の区分

VAIOご購入日から1年間	無料 （「製品登録」が必要）
VAIOご購入日から 2年目以降	有料 （1案件：2,100円）

❑ お支払方法

クレジットカードでのお支払いとなります。ご利用可能なカード会社は、VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/ダイナースです。

❑ VAIO使い方有料サポートについて

VAIOご購入日から2年目以降のお客様はお問い合わせ１案件につき、2,100円（税込）となります。また、複数案件まとめてお問い合わせいただく際には、お得な料金でご利用いただけるプラン（3案件：5,250円（税込））もご用意しております。詳しくはオペレーターにご相談ください。

また、下記のホームページも合わせてご覧ください。

VAIOサポートページ「電話で問い合わせ」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

電話番号：（0120）60-3399（フリーダイヤル）

（ロクゼロ　サンサンキュウキュウ）

※「製品登録」がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間 平日：9時～ 18時　土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。詳しくは「セットアップが終わったら」（43ページ）をご覧ください。**
- **「製品登録」がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。電話番号や受付時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる

VAIOサポートページ「メールで問い合わせ」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/mail/

VAIOサポートページで質問を受け付け、電子メールで回答を差し上げるサービスです。（VAIOの使いかたなど技術的な質問に限ります。）

詳しくはホームページをご覧いただくか、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート]－[お問い合わせ／アフターサービス]－[メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる]をクリックする。）

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

❑ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

❑ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

❑ 修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、次の「修理を依頼されるときは」をご覧ください。

❑ 部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。修理を依頼される前に、下記のご確認をお願いします。

- 「VAIO 電子マニュアル」や「VAIOサポートページ」などで、お使いのVAIOの症状に合うものがないかご確認ください。

❑ VAIOサポートページ「故障とお考えの前に」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html

詳しくはVAIOサポートページ「故障とお考えの前に」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/qa.html）をご覧いただくか、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート] − [お問い合わせ／アフターサービス] − [修理を依頼されるときは] をクリックする。）

❑ 海外での修理について

お買い求めいただいたVAIOは、VAIO International Repair Service（VAIO国際修理サービス）の対象機種です。

VAIOのご購入日から1年間は、海外の本サービス対象国および地域においても、保証規定にのっとり、無償で修理を行います。サービス内容やご利用方法など詳しくは、本機に付属の冊子「VAIO International Repair Service（VAIO国際修理サービス）のご案内」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク「修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）
（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
※年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

!ご注意

- 電話番号はお間違いのないよう、ご注意ください。
- 電話番号や受付時間は変更になる場合があります。

ヒント

通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。
（一部機種・地域を除く。2010年6月現在）

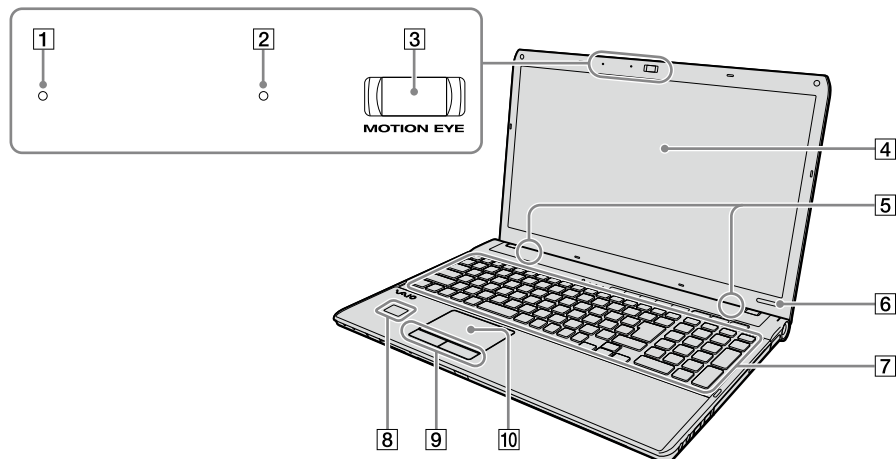
法人向け修理相談窓口のご案内
「VAIOビジネスクライアントサポートデスク」（法人のお客様専用）
電話番号：（0120）30-6065（フリーダイヤル）
（サンゼロ　ロクゼロロクゴー）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3035（通話料お客様負担）
受付時間：平日：10時～ 18時（土日祝日休み）

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://sony.jp/vaio/myvaio/
VAIOの情報はもちろん、ウェブ検索、ニュース、天気など毎日使える情報が満載です。ぜひご活用ください。

各部の説明

本体正面

1 **内蔵マイク**

2 **内蔵カメラ（MOTION EYE）ランプ**
内蔵カメラ（MOTION EYE）起動中に点灯します。

3 **内蔵カメラ（MOTION EYE）**
「Skype」などのソフトウェアを使って、テレビ電話などをすることができます。

4 **液晶ディスプレイ（74、98ページ）**

5 **内蔵スピーカー**

6 **IDラベル**
型名が記載されています。

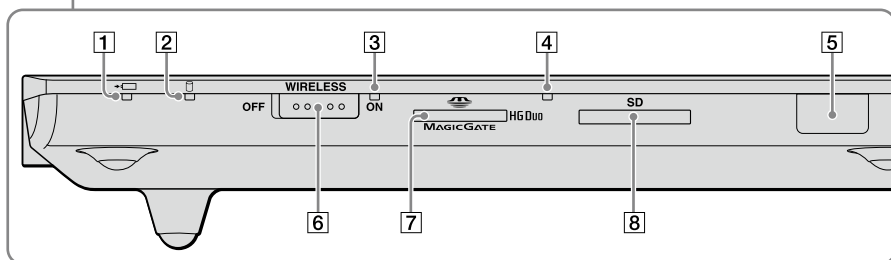
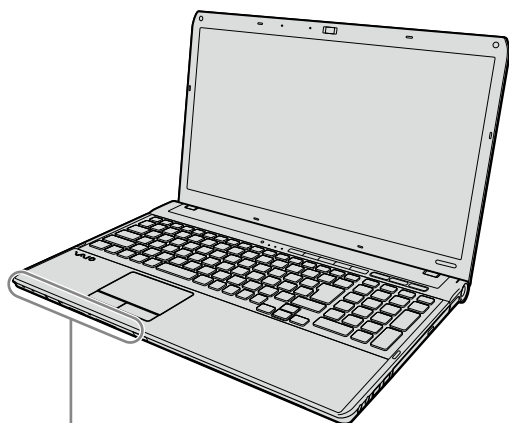
7 **キーボード（76ページ）**

8 **FeliCaポートまたはTransferJet ／ FeliCaポート**
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。また、TransferJet機能を使用してデータ転送を行います。（TransferJet機能搭載モデル）

ヒント

- FeliCaについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［FeliCa］をクリックする。）
- TransferJet機能について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［TransferJet機能］をクリックする。）

9 **左／右ボタン**
マウスの左／右ボタンに相当します。

10 **タッチパッド（78ページ）**
マウスの代わりに画面上のポインターを動かします。

1 ➜▭（充電）ランプ
バッテリーの充電状態をお知らせします。

2 ⌸（ディスク）アクセスランプ
CD／DVDなどのディスクやハードディスクまたはSSDにアクセスしてデータを読み込んだり、書き込んだりするときにオレンジ色に点灯します。

3 WIRELESSランプ
ワイヤレス機能（無線LAN機能／BLUETOOTH機能／TransferJet機能）が使える状態のときに点灯します。

ヒント

複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、ひとつ以上のワイヤレス機能が使える状態のときに点灯します。
なお、WIRELESSスイッチが「ON」になっていても、「VAIO Smart Network」でワイヤレス機能のデバイスが有効になっていない場合、WIRELESSランプは点灯しません。

4 メモリーカードアクセスランプ
“メモリースティック デュオ”やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

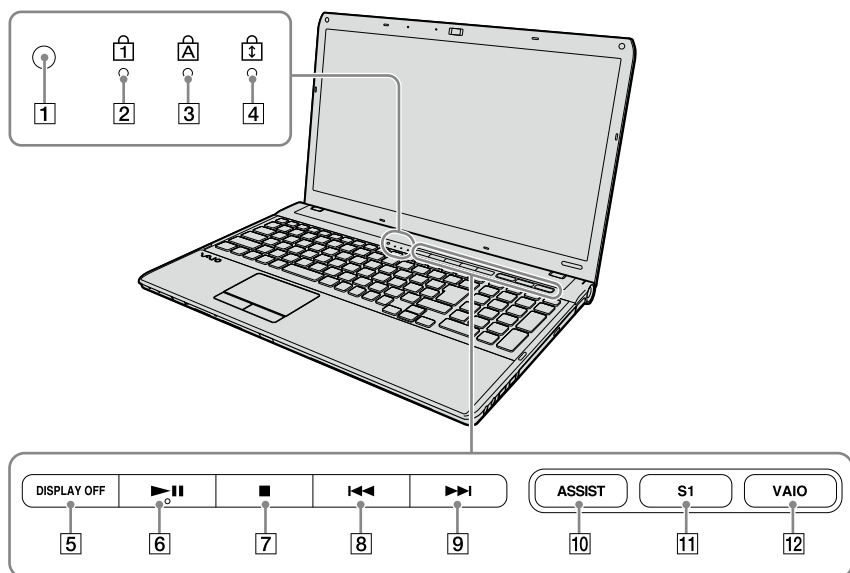
5 リモコン受光部
（地上デジタルチューナー搭載モデルのみ）
リモコンの信号を受けます。

6 WIRELESSスイッチ
ワイヤレス機能（無線LAN機能／BLUETOOTH機能／TransferJet機能）の電源をオン／オフします。

ヒント

複数のワイヤレス機能が搭載されている場合は、WIRELESSスイッチを「ON」にし、「VAIO Smart Network」でワイヤレス機能のデバイスを有効にする必要があります。

7 “メモリースティック デュオ” スロット
“メモリースティック デュオ”をそのまま挿入します。

8 SDメモリーカードスロット
SDメモリーカードを挿入します。

1 **照度センサー**

自動輝度設定が有効の場合は、周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを自動的に調整します。

ヒント

本機のセットアップやリカバリー時には自動輝度設定が動作しない場合があるため、周囲の明るさに関係なく、ディスプレイの輝度が明るくなったり、暗くなったりすることがあります。

2 **(Num Lock)ランプ**

Num Lkキーを有効にすると点灯します。

3 **(Caps Lock)ランプ**

Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

4 **(Scroll Lock)ランプ**

Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

5 **DISPLAY OFFボタン**

液晶ディスプレイのバックライトを消灯します。

6 **►II(再生／一時停止)ボタン**

DVDなどの映像やCDなどの音楽の再生／一時停止をします。

7 **■(停止)ボタン**

DVDなどの映像やCDなどの音楽の再生を停止します。

8 **I◄◄(前)ボタン**

DVDなどの映像再生中にチャプターや映像を戻し、CDなどの音楽再生中に曲を戻します。

9 **►►I(次)ボタン**

DVDなどの映像再生中にチャプターや映像を進め、CDなどの音楽再生中に曲を進めます。

10 **ASSISTボタン**

Windowsが起動している状態で押すと、「VAIO Care」が起動します。
また、電源が切れている状態で押すと、「VAIO Care レスキュー」が起動します。

!ご注意

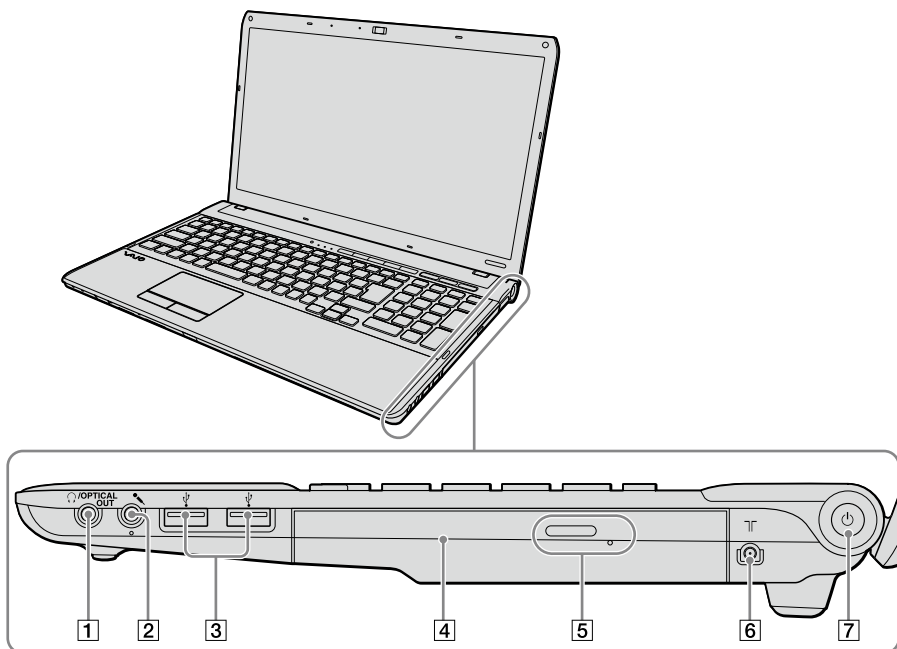
休止状態ではASSISTボタンを押さないでください。

11 **S1ボタン**

押すだけで、あらかじめ割り当てられている機能を手軽に操作することができるショートカットボタンです。
割り当てられている機能は、お好みで変更することもできます。

12 **VAIOボタン**

「Media Gallery」を起動します。
「Media Gallery」がインストールされていない場合は、消音ボタンになります。

本体右側面

1 🎧（ヘッドホン）／ OPTICAL OUT端子

スピーカーやヘッドホンなどをつなぎます。また、出力先を切り替えることで、光デジタル音声入力のあるオーディオ機器をつないで、音声を出力することもできます。

2 🎤（マイク）端子（ステレオ対応）

マイクをつなぎます。
ヘッドホン端子と区別がしやすいように、マイク端子の下に突起がついています。マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホン端子に接続しないようにご注意ください。

3 ψ（USB）端子

USB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

このψ（USB）端子は、USB3.0規格に対応しています。

4 ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）またはブルーレイディスクROMドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）またはDVDスーパーマルチドライブ

以降、ドライブと略すことがあります。
ディスクの入れかたについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［ディスクを入れる／取り出す］をクリックする。）

5 ドライブ イジェクトボタン／マニュアルイジェクト穴

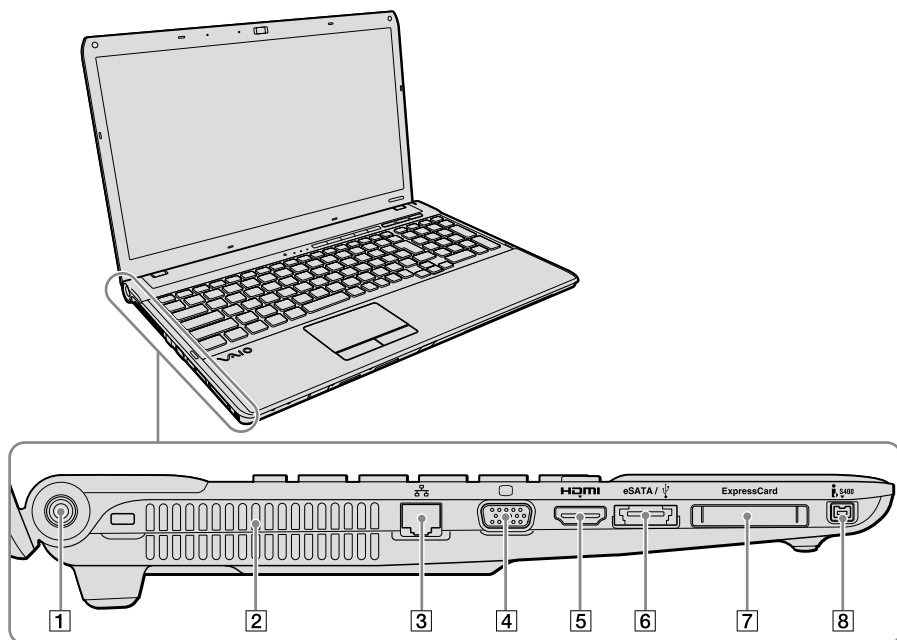
マニュアルイジェクト穴は、ドライブに挿入されたディスクを強制的に排出させるときに使用します。針金のようなもの（太めのクリップで代用可）を穴に押し込んでください。

6 ⫪（アンテナ）端子（28ページ）

（地上デジタルチューナー搭載モデルのみ）
アンテナを接続し、本機でデジタル放送を見ることができます。

7 ⏻（パワー）ボタン／ ⏻（パワー）ランプ（32ページ）

電源が入ると点灯（グリーン）します。スリープモード時には点滅（オレンジ）します。

本体左側面

1 ⊖-C-⊕ DC IN 19.5V 端子（30ページ）
電源コンセントにつないでからACアダプターをつなぎます。

2 排気口

3 LAN端子（27ページ）
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

4 ▢（モニター）端子
外部ディスプレイやプロジェクターをつなぎます。

5 HDMI OUT端子
HDMI入力端子のあるテレビや外部ディスプレイをつなぎます。

!ご注意

接続した機器によっては、本機から出力した音声のはじめの一部が再生されないことがありますが、故障ではありません。

6 eSATA ／ ψ（USB）端子
eSATAに対応した周辺機器またはUSB規格に対応した機器をつなぎます。

ヒント

- 通常のψ（USB）端子として使用できます。
- このψ（USB）端子は、USB2.0規格に対応しています。

!ご注意

- eSATA機器とUSB機器をこの端子に同時に接続することはできません。
- お使いのUSB機器の端子形状により正常に認識できない場合があります。
  ほかのψ（USB）端子を使用してください。
- eSATA機器を取りはずす場合は、デスクトップ画面右下の通知領域にある （ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をクリックし、リストから取り出したいeSATA機器の取り外しをクリックしてください。
- ポートマルチプライヤー対応eSATA機器には対応していません。

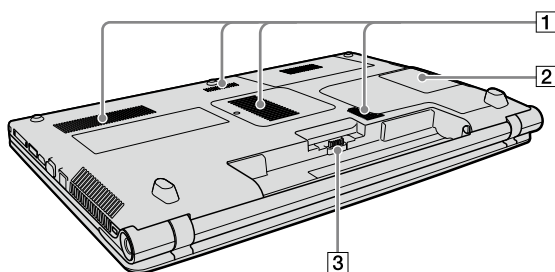
7 ExpressCard(エクスプレスカード)スロット

ヒント
本機は34 mmサイズのExpressCard モジュールに対応しています。

8 S400(i.LINK)端子
i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

▭ (モニター)端子とHDMI OUT端子の制限事項

本機で▭ (モニター)端子とHDMI OUT端子を同時に使用することはできません。

本体底面

1 吸気口

2 B-CASカードカバー(23ページ)
(地上デジタルチューナー搭載モデルのみ)

3 バッテリー端子

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

使用に適さない場所について

次のような場所で本機を使用すると故障の原因となることがあります。

- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所。
- 振動する場所や不安定な場所。
- ほこり、湿気の多い場所。
- 風通しが悪い場所。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品をさします。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です）。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクまたはSSDの取り扱いについて

本機には、ハードディスクまたはSSD(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクまたはSSDが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

ハードディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

SSD搭載モデルをお使いの場合

- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- お買上げ時に搭載されているSSDは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクまたはSSDに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクまたはSSDのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA(Wi-Fi Alliance)で規定された「Wi-Fi (ワイファイ)仕様」に適合していることが確認されています。
- 無線LANではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧下さい。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては本機自体や他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯の無線LAN機能と5 GHz帯の無線LAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11n(2.4 GHz)は、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- IEEE 802.11b ／ IEEE 802.11gをお使いの場合のみ、アドホックモード接続を行うことができます。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- BLUETOOTH対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBLUETOOTH対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては本機自体や他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- BLUETOOTH規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- BLUETOOTH一般の特性として、複数のBLUETOOTH機器を接続した場合は、帯域の問題により、BLUETOOTH機器の性能が落ちる場合があります。
- BLUETOOTH Audio機器と接続して動画を再生すると、BLUETOOTH機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ACアダプターについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属またはソニーが指定する別売りのACアダプターをご使用ください。
- ACアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプターは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリーについてのご注意

バッテリーについて

- 付属のバッテリーは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属またはソニーが指定する別売りのバッテリーをご使用ください。
- 高温時、低温時は、安全のために充電を停止することがあります。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリーをお使いになるときは

付属のバッテリーは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリーの放電について

バッテリーは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリー駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリーの駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使用状況および設定等により変動します。

バッテリーの性能低下と交換について

バッテリーは消耗品です。充電回数や使用期間などにより少しずつ充電能力が低下していきます。このため、十分に充電を行っていてもバッテリーの駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなったりすることがあります。

バッテリーの駆動時間が短くなってきた場合には、バッテリーの状態を確認し、ソニー指定の新しいバッテリーと交換をしてください。

バッテリーの残量や充電能力の確認方法について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[バッテリーの充電／表示の見かた]をクリックする。）

また、バッテリーは上手に使うことによって駆動時間を長くしたり、充電能力の低下を遅らせ、バッテリーをより長持ちさせたりすることができます。

なお、バッテリーの交換に関しご不明な点などございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリーが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたはSSDに保存しますので、バッテリーが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプターを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリーの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずすときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組は録画できません。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

デジタル放送の著作権保護とB-CASカードについて（地上デジタルチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送を視聴するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。

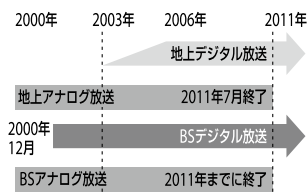
- 番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用します。B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送が視聴できません。
- デジタル放送には、コピー制御信号が加えられています。放送局が定めた範囲でコピーできますが、著作権者等に無断で販売したりインターネットで公衆に送信したりすると、著作権侵害になります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について（地上デジタルチューナー搭載モデル）

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。

該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。

地上アナログ放送は2011年7月*に、BSアナログ放送は2011年*までに終了することが、国の方針として決定されています。

* 2008年3月現在の情報です。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

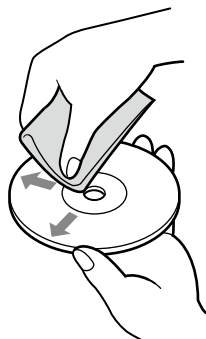
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプターとバッテリーを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、レンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピューターを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスクまたはSSD内のリカバリー機能や自作のリカバリーメディアを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたはSSD内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。
従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスクまたはSSD上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたはSSD上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**

データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されている「VAIO データ消去ツール」を使って、ハードディスクまたはSSDのデータを完全に消去する
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。（[コンピューター本体の使いかた]－[ハードディスク／ SSD]－[ハードディスク／ SSDのデータを完全に消去する]をクリックする。）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクまたはSSDを破壊する
  ハードディスクまたはSSD上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

デジタル放送について（テレビチューナー搭載モデル）

対応している放送の種類

地上デジタル放送（VHF 1ch-12ch、CATV C13ch-C63ch、UHF 13ch-62ch）

！ご注意

- 本機は同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式には対応していません。
- BS・110度CSデジタル放送、アナログ放送には対応していません。

デジタル放送の機能

本機は以下の機能に対応しています。

- EPG（電子番組表）
- 字幕放送
- データ放送
- 双方向（データ放送）サービス

！ご注意

字幕はブルーレイディスクにのみ書き出しできます。ただし、再生機器によっては字幕が再生できないことがあります。

デジタル放送を書き出せるディスク

ハードディスクドライブに録画したデジタル放送の番組は、以下のディスクに書き出せます。

- BD-R ／ BD-RE（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）
- CPRM対応のDVD-R（片面1層および2層）
- CPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM

！ご注意

- 「VAIO 電子マニュアル」の［コンピューター本体の使いかた］－［CD ／ DVD ／ BD］－［使用できるディスクとご注意］もあわせてご確認ください。
- デジタル放送の番組を直接ディスクに録画することはできません。
- デジタル放送の番組をBD-R ／ BD-REに書き出した場合、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイディスクレコーダーでは再生できません。
- デジタル放送の番組を書き出したディスクは、お使いの再生機器によっては再生できないことがあります。

CPRMについて

CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化・復号化する技術です。

デジタル放送の番組をDVDに書き出す場合は、パッケージに「デジタル放送対応」や「CPRM対応」などの記載があるディスクをご使用ください。

索引

＊ 別紙「主な仕様」をご覧ください。

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ナ行】

【ハ行】

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

【E】

【F】

【H】

【I】

【L】

【N】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- “ウォークマン”、"WALKMAN"およびそのロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ICOCAは、西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PiTaPaは、株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- nimocaは、西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- Kitacaは、北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- SUGOCAは、九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- 「iモード」、「おサイフケータイ」および「トルカ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- BLUETOOTHワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- “TransferJet”及び“TransferJet”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、 Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Office ロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。
- NVIDIA、NVIDIAロゴ、GeForceは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- SDXCロゴは商標です。

- ExpressCard（TM）ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QRコードは、（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピューターに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは88ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOを楽しむための情報をご利用いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

（0120）60-3399（ロクゼロ サンサンキュウキュウ）

（フリーダイヤル）

※「製品登録」がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間

平日：9時～ 18時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。**
- **「製品登録」がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**
- **お電話の前に本機の型名をご確認ください。**
  （保証書または本体液晶ディスプレイ右下のIDラベルに記載されています。）

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「電話で問い合わせる」（88ページ）をご覧ください。

有料サービス

■ セミナー（ITエンターテインメントセミナー）

http://www.sony.jp/seminar/

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ 設置設定サービス（ソニーデジホームサポート）

http://www.sony.jp/support/service/Support/

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

フリーダイヤル	(0120)60-3399
携帯電話･PHS･一部のIP電話	(0466)30-3000

フリーダイヤルをご利用になるには、「製品登録」が必要です。
使いかたのお問い合わせについて、詳しくは前ページをご覧ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-262-894-**01** (1)